



# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課  
〒510-0085 四日市市諏訪町2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

教育支援課  
マスコットキャラクター  
しえん君



## 「研究発表」に思うこと

教育支援課 山舖 清尚

教職員研修講座に、重点教育課題研修として「研究発表」の講座があります。本年度は、重点課題研究発表として笹川中学校、大谷台小学校が、体力向上・授業づくり研修として河原田小学校が、道徳教育研修として泊山小学校がそれぞれ公開授業研究会を開催します。また、昨年度の重点課題研究推進校の浜田小学校も公開研究会を開催します。

研究発表に取り組むということとは、自校の研修主題のもと、日々積み重ねてきた教育実践の成果を広く知らしめるということです。そこに至るには、研修計画に位置づいた校内研究授業だけでなく、普段の授業を見合ったり、日々、授業改善に取り組んだりしながら、授業の質を高めるといふ研鑽が必要です。外に向けて

授業を見せる、学校を見せることは、大変な労力がかかることでしよう。しかし、その成果は日々向き合う子どもたちに、必ず還元されると思います。私自身、ある学校に赴任したとき、先輩の先生から次のように指導されました。「公開研究会は、三重県内外の先生方が、参加してくれる。参加者は、あなたの『教材』『子ども』『指導』を見に来る。『なるほど』と思うもの、『日々、どのように指導するのか』と感じるものを求めている。日々の授業の中で、絶えず研修を積み、研究を進めることが、参加者に応えることであり、何よりも、より良い授業を目指して日々精進することは、子どもへの指導者としての礼儀である。」

この言葉に込める授業はできませんでしたが、この言葉は、今な

お、私の指導者としての座右の銘です。

先生方は日々、研修に励み、職場の同僚と自己相互研鑽に努められていることと思います。この機会に「研究発表」に参加していただき、自らの研修をさらに深めてみてはいかがでしょうか。



# 振り返りを活かして 教師力向上を!!

夏季教職員研修へのご参加ありがとうございました。  
今年度の参加人数は、のべ約5000人でした。

さて、今年度も前半が終わり、後半に入りました。  
この時期に、「中間の振り返り」をしましょう。前半の  
自分の実践や研修で学んだことを振り返ることが、次の  
「気づき」につながります。振り返りを活かして、さら  
に実践・研修をすすめていきましょう。



また、研修で学んだことを職場に還元しましょう。職場への還元によって、校園内研修・OJTの充実が図られます。

## 校園内研修・OJTの充実



## 学び合おう！高め合おう！

普段の授業を見合うことで、授業改善が日常化していきます。また、授業のあとで、板書を見合うことでも、授業についての交流ができ、「学び合い」が生まれます。各職場で、気軽に授業を見合ったり、授業について語り合ったりして、校園内で「高め合い」を生み出しましょう。



### 「若手教員研修」の授業研究(必修講座)

小学校ではブロック別に授業を通じた実践交流を、中学校では教科別の授業を通じた実践交流をおこなっています。掲示板に案内を載せますので、若手教員研修対象者以外の先生も参加してください。互いに学びあう場としていきましょう。

## 重点課題研究推進校 中間研究発表

重点課題研究推進校の中間研究発表会が、8月6日（火）、7日（水）に開催されました。

## 大谷台小学校

於：総合会館8F 視聴覚室

## 【研究主題】 論理的思考力を育成する授業の創造

## ～ 「思考の場」を設定した授業づくり ～

国語科の説明文教材に焦点をあて、思考活動の充実をめざす授業づくりの研究発表がありました。具体的な方策として、「用語」指導と「教材研究」の充実が挙げられます。

会では、パネルディスカッションや参加者にも「教材研究」をしてもらう活動を通じて、系統的な「用語」指導のあり方と校内ミニ研修会での「教材研究」の仕方の研鑽が報告されました。

また、これまでの成果として、子どもたちに論理的思考力が付きつつある実態と共に、その力が他教科でも活かしていることも紹介されました。



## 笹川中学校

於：総合会館8F 視聴覚室

## 【研究主題】 「自他ともに大切にすることを育む」

## ～ ICT を活かした学び合いのある授業づくり ～



【助言者・講師】 三重大学教育学部 教授 下村 勉 先生

「学び合い」に ICT 機器を効果的に活用することで、生徒の思考力、判断力、表現力の育成をめざす授業づくりの研究発表がありました。全学級に ICT 環境を整え、全教科で取り組んでいます。

3教科からの実践報告を通じて、成果として、「学習意欲の高揚」「円滑な指導（etc. 課題提示、板書）」「思考力・表現力の育成の有効性」、課題として、「ICT 機器の活用場面や使い方の工夫」「生徒の機器操作スキルの向上」が挙げられました。

下村先生からは、今後の取り組みへの示唆をいただくと共に、能動的な学習を支える Moodle（ムードル）の紹介及び実践を交えながらその効用について、ご講演をいただきました。

## 平成25年度 重点課題研究推進校の実践発表日程

学 校	日 程	時 間	会 場	内 容
笹川中学校	11月12日(火)	13:50-16:50	笹川中学校	提案授業、事後検討会、全体会
大谷台小学校	11月29日(金)	13:20-16:30	大谷台小学校	提案授業、事後検討会、全体会



## 対人関係の苦手な子はいませんか？

# SST(ソーシャルスキルトレーニング)活用のすすめ

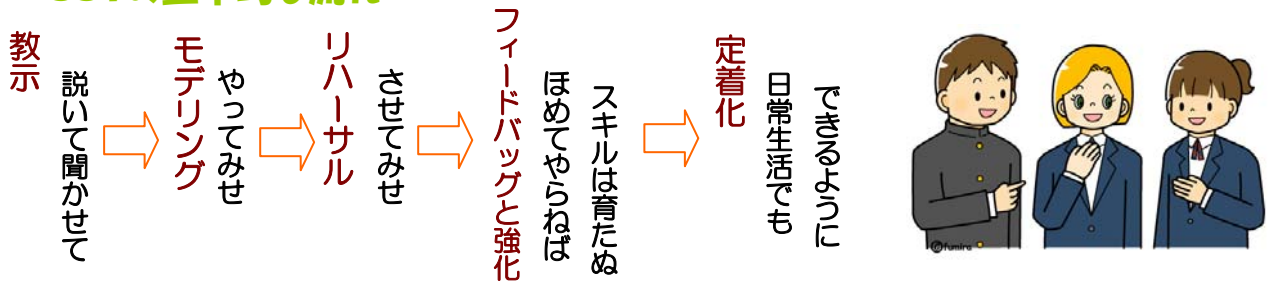
ソーシャルスキルは、人間関係が上手くいかずに困っている全ての人に身につけてもらいたいスキルです。

### 対人関係を円滑にするための 12の基本スキル

- ①挨拶の仕方 ②自己紹介の仕方 ③上手な聴き方 ④質問の仕方 ⑤仲間の誘い方 ⑥仲間への入り方 ⑦あたたかい言葉のかけ方 ⑧優しい頼み方 ⑨相手の気持ちをわかった上での働きかけ方(共感力) ⑩上手な断り方 ⑪自分を大切にしたい伝え方 ⑫トラブル解決策の考え方

\* ソーシャルスキルにはいろいろな考え方があります。これは一例〔小林正幸 2005〕です。

### SSTの基本的な流れ



## SSTの場は、園・学校生活のどこにでも！！

### 学級活動で

挨拶がわりに、相手を軽く叩いたりちょっかいをだしたりする場面を見かけたら



自分では親しみをこめているつもりでも、相手はどう感じているかを考えて、より望ましい行動ができるように働きかけます。

### 日常の生活で

班の子から何かを頼まれたとき、すぐに「無理～！」と返事をする場面を見かけたら



どのように断れば相手が傷つかないか、相手を思いやった返事の仕方などを考え、全員で共有していきます。

### グループ学習で

グループ学習は、③聴き方④質問⑦あたたかい言葉⑨共感力などを鍛える絶好の場面です。



望ましい関わり方をしているグループを手本として紹介したり、上手く関わられたときには褒めたりします。その場でフィードバックすることで、より効果が高まります。

## ソーシャルスキルからモラルスキルへ

ソーシャルスキルを身につけることはゴールではありません。同時に、お互いが気持ちよく過ごせるためのモラルを、マナーとして共通理解していくことも必要です。

育てよう！  
ソーシャルスキルを学校で

### 参考冊子

「育てよう！ソーシャルスキルを学校で」

三重県教育委員会事務局研修分野

<http://www.mpec.jp/user/socialskill.pdf>